

令和7年度 こんだ認定こども園評価アンケート結果

令和7年12月～令和8年1月実施

保護者回答率 98%・園職員回答率100%

【意見感想 ☆保護者 ○職員 ◎次年度への取組】

1. 園の教育・保育方針について

【保育理念】

*子ども一人一人を大切に、保護者から信頼され、地域に愛され、共に育てる「共育」を目指す。

【目指す園児像】

げんき・なかよし・力いっぱい活動する子を育む。

【保育目標】

- *心身ともに健やかな子(食べる・眠る・遊ぶ、健康的な生活をする)
- *仲間とともに育つ子(様々な人との関わりを重ね、自分も友達も大切に)
- *いきいきと遊ぶ子(様々な環境に積極的に関わり、夢中になって遊ぶ)

①目指す園児像や園の目標の実現に向けて園行事や保育活動を工夫している。

	保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)
あてはまる	90.6% (48名)	76% (47名)	58.3% (14名)	71% (17名)
ややあてはまる	9.4% (5名)	19% (12名)	37.5% (9名)	29% (7名)
あまりあてはまらない	0.0% (0名)	0% (0名)	0.0% (0名)	0% (0名)
わからない	0.0% (0名)	5% (3名)	4.2% (1名)	0% (0名)

☆ 子どもたちが居心地の良さを感じている。安心して預けることができる。
 ☆ 他学年との関わりが多い保育の展開がされている。
 ☆ 職員の温かく手厚い保育を感じることができる。
 ○ 園児や保護者に朝の会や行事等機会あるごとに教育・保育方針に関連した話をしてきた。
 ○ 昨年に引き続き、異年齢で関わる時間を大切にできた。
 ◎ 職員数が多いことをいかした関わり方(色々な職員に見守られている安心感等)や職員で思いを共有しながら関わったり、教育・保育をすすめていくことを大事にする。

2. 保育内容について

①お子さんは、園に行くことを楽しみにしている。

②夢中になって遊ぶことができるような保育を行っている。

	保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)		保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)
あてはまる	67.9% (36名)	64% (40名)	25.0% (6名)	38% (9名)	あてはまる	77.4% (41名)	64% (40名)	29.2% (7名)	38% (9名)
ややあてはまる	20.8% (11名)	26% (16名)	45.8% (11名)	29% (7名)	ややあてはまる	22.6% (12名)	26% (16名)	58.3% (14名)	29% (7名)
あまりあてはまらない	7.5% (4名)	10% (6名)	0.0% (0名)	0% (0名)	あまりあてはまらない	0.0% (0名)	10% (6名)	4.2% (1名)	0% (0名)
わからない	3.8% (2名)	0% (0名)	29.2% (7名)	33% (8名)	わからない	0.0% (0名)	0% (0名)	8.3% (2名)	33% (8名)

③子どもたちがいろいろな体験ができる活動を取り入れている。

④集団生活のルールや基本的な生活習慣の指導を適切に行っている。

	保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)		保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)
あてはまる	86.8% (46名)	82% (51名)	54.2% (13名)	54% (13名)	あてはまる	86.8% (46名)	84% (52名)	37.5% (9名)	54% (13名)
ややあてはまる	11.3% (6名)	16% (10名)	37.5% (9名)	38% (9名)	ややあてはまる	11.3% (6名)	13% (8名)	54.2% (13名)	38% (9名)
あまりあてはまらない	1.9% (1名)	0% (0名)	4.2% (1名)	4% (1名)	あまりあてはまらない	0.0% (0名)	0% (0名)	0.0% (0名)	4% (1名)
わからない	0.0% (0名)	2% (1名)	4.2% (1名)	4% (1名)	わからない	1.9% (1名)	3% (2名)	8.3% (2名)	4% (1名)

⑤思いやりの気持ちや物事に意欲的に取り組む気持ちを育てている。

⑥進んで身体を動かし、体力が向上するような保育を展開している。

	保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)		保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)
あてはまる	88.7% (47名)	76% (47名)	45.8% (11名)	62.5% (15名)	あてはまる	64.2% (34名)	68% (42名)	33.3% (8名)	37.5% (9名)
ややあてはまる	9.4% (5名)	18% (11名)	45.8% (11名)	37.5% (9名)	ややあてはまる	30.2% (16名)	24% (15名)	54.2% (13名)	42% (10名)
あまりあてはまらない	0.0% (0名)	1% (1名)	0.0% (0名)	0% (0名)	あまりあてはまらない	0.0% (0名)	2% (1名)	4.2% (1名)	12.5% (3名)
わからない	1.9% (1名)	5% (3名)	8.3% (2名)	0% (0名)	わからない	5.7% (3名)	6% (4名)	8.3% (2名)	8% (2名)

☆ 季節に応じた遊び、地域ならではの自然に触れることができる機会から、たくさん家庭ではできない経験を積んで成長していると感じている。
 ☆ 子どもの気づきや思いを大事にし、子どもが選ぶことができる教育・保育活動が展開されている。
 ★ もっと体を動かす機会を増やしてよいのでは(遊具の種類を増やす、体操の先生を呼ぶ、4、5歳児のマラソン大会開催等)
 ○ 季節ごとの自然を大切に、見たり触れたりする実体験を大切に、子どもたちの興味・関心を引き出すことを大切にできた。
 ○ 異年齢保育の関わり、園児や保育内容についての情報交換を行ったり、保育の振り返りを個人だけでなく、時間を設けて取り組んできた。
 ◎ 乳幼児期に大切にしている②、③について、保護者の方に理解していただいていることを嬉しく思う。昨年も話し合いや振り返る場を多く設けてきたが、1年がたち環境整備や、教育・保育についてより深い話し合いをすることができていると感じている。
 ◎ 「体を動かして遊ぶ遊び」について、園では日々園庭や保育室、また活動状況により遊戯室を使用しながら遊んでいる。今年はヨガの先生に来ていただいたことで、保育の幅が広がった。市内での運動遊び研修に積極的に参加する等研鑽に励むとともに、計画的に保育をすすめていくこと、いろいろな部位を動かして遊ぶことができる遊びを意識する等改善していきたい。

3. 給食・食育について

①野菜の栽培・収穫や食育の話等を行い、子どもたちが食に対する興味・関心を持てるようにしている。

②楽しく食事ができるように工夫している。

	保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)		保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)
あてはまる	86.8% (46名)	79% (49名)	54.2% (13名)	41% (10名)	あてはまる	81.1% (43名)	70% (43名)	50.0% (12名)	42% (10名)
ややあてはまる	11.3% (6名)	21% (13名)	29.2% (7名)	38% (9名)	ややあてはまる	17.0% (9名)	24% (15名)	37.5% (9名)	37% (9名)
あまりあてはまらない	0.0% (0名)	0% (0名)	0.0% (0名)	4% (1名)	あまりあてはまらない	0.0% (0名)	6% (4名)	0.0% (0名)	4% (1名)
わからない	1.9% (1名)	0% (0名)	16.7% (4名)	17% (4名)	わからない	1.9% (1名)	0% (0名)	12.5% (3名)	17% (4名)

③季節感のある食材を取り入れ、給食を楽しみにできる献立表を作成している。【0-3歳児の保護者・関係する職員のみ回答】

☆ 旬の食材や地域の特産物を使用していろいろ献立を考えてくださりありがたく思っている。
 ☆ 家では食べない食材や献立を園では食している。(昨年に続き)
 ☆ 園で育てた野菜を収穫して食べる経験から、食に興味をもっている。
 ★ 人気メニューや給食の様子をもっと教えてほしい。
 ★ 丹波篠山市の農家さんとの関わりを作ってほしい。保護者が勉強する機会があってもよいと感じる。
 ○ 季節、旬を取り入れた野菜など、園児が実際に下準備したり、クッキングしたりする機会を多く持つようにした。
 ○ 離乳食や給食の様子など、家庭と様子を伝え合いながら進めていくことはできたが、家庭でもいろいろな食材に挑戦したり、苦手なものも食べたりと、同じように取り組むことができたら・・・と感じることもあった。
 ◎ 「パンよりお米」「無農薬」「地元食材」等のワードが保護者のコメントによく書かれていた。保護者の方の食や食育に対する関心が高いと感じる。自園給食だからこそできることを次年度も続け、子どもたちに人気のあったメニューのレシピ、家庭にあるものでできるレシピ等、今年よりも多く知らせていきたいと思う。

	保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)
あてはまる	92.7% (38名)	83% (19名)	73.3% (13名)	50% (6名)
ややあてはまる	7.3% (3名)	17% (4名)	20.0% (3名)	25% (3名)
あまりあてはまらない	0.0% (0名)	0% (0名)	0.0% (0名)	0% (0名)
わからない	0.0% (0名)	0% (0名)	6.7% (1名)	25% (3名)

4. 行事・地域との連携について									
①行事に保護者が参加しやすく、親子で楽しめるように工夫されている。					②行事を通して、子どもたちの成長を感じる。				
	保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)		保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)
あてはまる	77.4% (41名)	76% (47名)	50.0% (12名)	83% (20名)	あてはまる	88.7% (47名)	79% (49名)	75.0% (18名)	75% (18名)
ややあてはまる	18.9% (10名)	22% (14名)	41.7% (10名)	13% (3名)	ややあてはまる	11.3% (6名)	21% (13名)	12.5% (5名)	21% (5名)
あまりあてはまらない	0.0% (0名)	2% (1名)	0.0% (0名)	0% (0名)	あまりあてはまらない	0.0% (0名)	0% (0名)	0.0% (0名)	0% (0名)
わからない	3.8% (2名)	0% (0名)	8.3% (2名)	4% (1名)	わからない	0.0% (0名)	0% (0名)	12.5% (3名)	4% (1名)
③地域の方とふれあい、地域よさを感じたり、地域の方の優しさにふれたりする機会をもっている。					④小学校との交流を図り、連携を取り合っている。【4, 5歳児の保護者・関係する職員のみ回答】				
	保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)		保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)
あてはまる	83.0% (44名)	63% (39名)	50.0% (12名)	79% (19名)	あてはまる	89.7% (26名)	74% (20名)	63.2% (12名)	61% (8名)
ややあてはまる	13.2% (7名)	31% (19名)	33.3% (8名)	13% (3名)	ややあてはまる	10.3% (3名)	15% (4名)	15.8% (3名)	23% (3名)
あまりあてはまらない	0.0% (0名)	3% (2名)	0.0% (0名)	8% (2名)	あまりあてはまらない	0.0% (0名)	7% (2名)	5.3% (1名)	8% (1名)
わからない	3.8% (2名)	3% (2名)	16.7% (4名)	0% (0名)	わからない	0.0% (0名)	4% (1名)	15.8% (3名)	8% (1名)

5. 保護者と園の連携について

①こども園は、送迎時の会話や連絡帳等でお子さんの活動や成長の様子について伝えたり、子育ての情報を提供したりしている。					②困ったことや気になることがあったときに、こども園の職員に相談することができる。または、実際にしている。				
	保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)		保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)
あてはまる	77.4% (41名)	61% (38名)	58.3% (14名)	63% (15名)	あてはまる	71.7% (38名)	61% (38名)	45.8% (9名)	38% (9名)
ややあてはまる	15.1% (8名)	31% (19名)	33.3% (8名)	33% (8名)	ややあてはまる	15.1% (8名)	25% (16名)	41.7% (11名)	45% (11名)
あまりあてはまらない	5.7% (3名)	6% (4名)	0.0% (0名)	0% (0名)	あまりあてはまらない	13.2% (7名)	6% (4名)	0.0% (3名)	0% (0名)
わからない	1.9% (1名)	2% (1名)	8.3% (2名)	4% (1名)	わからない	0.0% (0名)	6% (4名)	12.5% (4名)	17% (4名)
③園は、園での生活の様子をわかりやすく伝えている (tetoru, 行事案内、HP, 園だより、クラスだより等)					<ul style="list-style-type: none"> ☆ クラスだよりやホームページで、行事の様子がよくわかる。 ☆ 連絡帳や、電話、テトルできめ細やかに連絡してくれる。 ☆ 園の様子を詳しく聞けたり、話しやすい雰囲気や安心して預けることができる。 ★ 一人一人の写真より、遊んでいる全体像の写真の方がわかりやすいのでは？ ★ 長時間保育との連携の見直しが必要と感じる。 ○ 日々の連絡帳でのやりとりは丁寧でできるように心がけてきたが、受け取る保護者の方にとってはどうだったのだろうか。 ○ 保護者の思いを大事にしている。コミュニケーションを多くとり、信頼関係構築に努めた。 ◎ ②では、「あまりあてはまらない」の回答が7件あった。困った時にこそ気持ちを共有し合って、よりよい方向に進んでいくことができるようにしたいので、保護者との関わり方を再度各職員で見直し、改善していきたい。 ◎ 保護者の思いを組む部分と、けじめとして守って頂く部分を正しく理解してもらえるような関わり、どの保護者に対しても丁寧な対応をしたい。 				
	保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)		保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)
あてはまる	84.9% (45名)	85% (53名)	75.0% (18名)	88% (21名)					
ややあてはまる	13.2% (7名)	15% (9名)	16.7% (4名)	8% (2名)					
あまりあてはまらない	1.9% (1名)	0% (0名)	0.0% (0名)	0% (0名)					
わからない	0.0% (0名)	0% (0名)	8.3% (2名)	4% (1名)					

6. 安全管理について

①健康管理・感染症予防対策など適切に対応している。					②園児が安全に過ごせる環境の整備や交通安全の周知を行っている。				
	保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)		保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)
あてはまる	77.4% (41名)	65% (40名)	75.0% (18名)	67% (16名)	あてはまる	81.1% (43名)	79% (49名)	75.0% (18名)	75% (18名)
ややあてはまる	17.0% (9名)	24% (15名)	25.0% (6名)	25% (6名)	ややあてはまる	9.4% (5名)	18% (11名)	12.5% (3名)	21% (5名)
あまりあてはまらない	0.0% (0名)	5% (3名)	0.0% (0名)	4% (1名)	あまりあてはまらない	1.9% (1名)	0% (0名)	0.0% (0名)	0% (0名)
わからない	5.7% (3名)	6% (4名)	0.0% (0名)	4% (1名)	わからない	7.5% (4名)	3% (2名)	12.5% (3名)	4% (1名)
③ほけんだよりの内容が家庭での会話になったり、感染症予防などの参考になったりしている。					<ul style="list-style-type: none"> ☆ 養護教諭がいることで安心感がある。 ☆ 交通安全教室後、子どもに交通ルールが定着しつつあると感じる。 ★ 乳児用のすべり台のバーに頭をよくぶつける。 ★ けがの確認ができるように保育室にカメラの設置を希望する。 ★ 行事時など、玄関に職員が立ち、防犯面を強化してほしい。 ○ 安全部を中心に積極的に取り組んだ。ケガやアレルギー対応の保健研修を開催。園児も一緒に防犯訓練、救急職員によるAED研修の実施した。また、運営協議員・民生委員さんにお世話になり、一緒に安全点検を行ったことが違う視点から安全を確認する機会となった。 ◎ 一人一人が危機管理意識を持って職務にあたることのできるような職場づくり、職員全体で歩調をあわせて進めていく。 				
	保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)		保護者(R7)	保護者(R6)	職員(R7)	職員(R6)
あてはまる	64.2% (34名)	60% (37名)	58.3% (14名)	62% (15名)					
ややあてはまる	28.3% (15名)	35% (22名)	12.5% (3名)	17% (4名)					
あまりあてはまらない	7.5% (4名)	3% (2名)	0.0% (0名)	0% (0名)					
わからない	0.0% (0名)	2% (1名)	29.2% (7名)	21% (5名)					

【アンケート結果より】

開園2年目となり、昨年度の反省をいかしながら、教育・保育を進めていくことができた。アンケートの結果よりからは、園の教育・保育方針について保護者の方に昨年よりご理解頂けていること、また私たち職員の思いが伝わっていることや共感していただいていることがわかり大変嬉しく思う。

丹波篠山市が掲げている「朝日と共にめざめ、四季を感じながら、夢中になって遊ぶさきやまっ子」の目指す幼児像に近づくために、園では、**体験からの学びを大切に**している。夢中になって遊ぶことができる環境づくり、意欲的に活動することができる環境づくり、様々な体験活動ができる環境づくり、異年齢の中で成長できる環境づくりに努めてきた成果が表れていると感じる。子どもの気持ちに共有すること、寄り添って見守ったり、励ましたり、一緒に喜んだり、悩んだり考えたりすること、職員や保護者・地域の人々との関わりから、人の温かさや安心感を感じていくことの人的環境にも力をいれてきた。特に乳幼児期の体験、経験はその後の成長の基盤となることを踏まえ、生活や遊びの中で子どもたちが主体的に活動できる環境づくりを心がけてきた。また、年齢に応じたグループやクラス活動を工夫しながら、集団の中で育ちあう経験を大切にしている。今後も一人一人を大切にしながらも、集団生活の中で思いやりの気持ちや社会性が育つよう日々の保育を積み重ねていきたい。

職員の資質向上のための研修も昨年より深めることができた。4, 5歳児の公開保育をはじめ、保育環境部による外部講師による研修、安全部によるケガやアレルギー対応等の研修、消防・警察署と取り組んだ研修等、園内での研修の充実を図ることができた。研修後には、アンケートをとり、思いをみんなで理解し合うなど、職員1人1人の教育・保育に対する思いや意識や取り組み方の共有、安全に対する危機管理意識の向上につなげてきたが、今後も継続した取り組みが必要である。今後職員アンケートから見えてきた課題について、職員間で共有し、話し合いを重ねながら改善に取り組むことでより安心安全な保育環境を整えていきたい。

今田の地域を大切にしたい思い、地域の方とのつながりや自然を大事にしていきたい思いは、園も保護者の方も同じであるということがよくわかった。今後も、今田の地域の自然や特性をいかした教育や、保育を、保護者・地域と連携しながら、今後もこんだ認定こども園の子どもたちが心身ともに健やかに、安全に過ごせる園づくりに職員一丸となって取り組んでいく。